

水道工事事故発生状況

令和6年3月31日

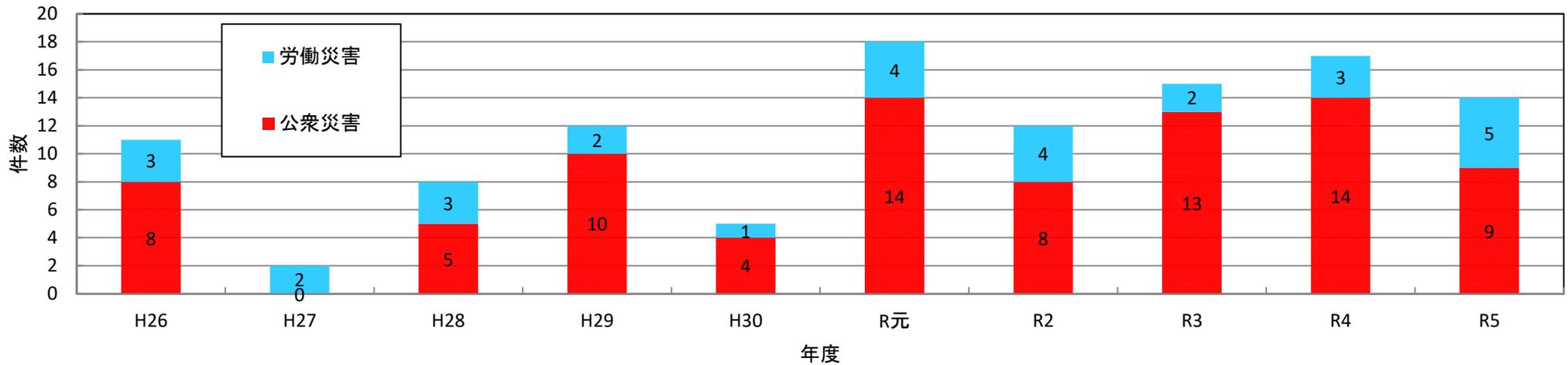
札幌市水道局工事安全管理委員会

1. 労働災害

事故の型	年度別件数										
	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	計
墜落、転落		1		1					1	2	5
転倒			1			3					4
激突	1										1
飛来、落下										1	1
崩壊、倒壊											0
激突され		1					2				3
はさまれ、巻き込まれ	1	1	1	1	1	1	2	2	1		11
その他			1						1	2	4
合計	3	2	3	2	1	4	4	2	3	5	29

2. 公衆災害

事故の型・事故対象物		年度別件数										
		H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	計
人身事故	墜落、転落									1		1
	転倒						1				1	2
	激突											0
	飛来、落下											0
	崩壊、倒壊											0
	激突され											0
	はさまれ、巻き込まれ											0
	その他											0
小計		0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	3
物損事故	一般車両の損傷	1		2	5	1			3	1		13
	その他一般所有物件の損傷				1				2			3
	水道管(地下埋設)の損傷	1		1	1		1	1	1	1	1	8
	水道以外の地下埋設物の損傷	1			2	3	7	5	6	10	5	39
	水道以外の地上公共物の損傷	2		1			5	2	1	1	2	14
	その他水道施設設備の損傷	3		1	1							5
	小計	8	0	5	10	4	13	8	13	13	8	82
合計		8	0	5	10	4	14	8	13	14	9	85



水道工事事故事例集

令和6年3月31日

1. 労働災害（過去10年間の水道工事における事故内容）

札幌市水道局工事安全管理委員会

年度	No.	発生年月日	人身/物損	被災人数	事故の型	起因物	事故概要	災害発生概況
R5	1	R5.5.19	人身事故	軽傷1名	その他	-	段差降下時の人身事故	コンクリート養生状態確認のため、排泥池内部のピット下に降りる際に、約70cmの段差を足の屈伸運動のみで降下し、右膝を負傷した。
	2	R5.6.12	人身事故	重傷1名	転倒	-	転倒による人身事故	柵の蓋が開いていることを失念しており、付近を通過した際につまずき転倒し、右足中指・薬指を骨折した。
	3	R5.8.24	人身事故	軽傷1名	その他	-	熱中症が原因の転倒による人身事故	作業員が立坑の上で管口閉塞作業の準備中、熱中症により意識が低下したことで転倒し、ライナープレートの天端に目蓋があたり負傷した。
	4	R5.9.13	人身事故	軽傷1名	転倒	-	転倒による人身事故	4tユニックからプラスチック敷板を荷下ろししていた際、吊荷が荷崩れし、周辺にいた被災者が手で押さえたが、耐え切れず後方に転倒し、頭部をアスファルトに打ち付け負傷した。
	5	R5.11.9	人身事故	重傷1名	飛来・落下	溝形鋼	溝形鋼の落下による人身事故	溝形鋼（約90kg）を作業員2人で持って移動する際に、片側の作業員の手がすべり被災者の足に落下し、負傷した。
R4	6	R4.10.12	人身事故	重傷1名	転落	外壁の崩壊	転落による人身事故	階段のコンクリートを打設中、先行して打設完了していた外壁が倒れ、作業員が外壁と一緒に倒れた方向に転落し負傷した。
	7	R4.11.14	人身事故	軽傷1名	火傷	バーナー	バーナーによる人身事故	既設舗装と新設舗装のジョイント部をコテ仕上げ作業を行っていたところ、バーナーの火が一瞬燃え上がり、作業員が負傷した。
	8	R4.11.21	人身事故	軽傷1名	はさまれ・巻き込まれ	舗装片	落下物による人身事故	作業員が、重機で撤去しきれない小さな舗装片を集めていたところ、誤って重機の作業半径内に進入し、バケツからこぼれた舗装片が作業員の右手に落下し、負傷した。
R3	9	R3.9.17	人身事故	重傷1名	はさまれ・巻き込まれ	トラック	建設機械による人身事故	埋戻材を積んだ4tトラックがバックで搬入した際に、電柱に接近したため停止を指示したが気づかず、交通誘導員が電柱とダンプトラックの間に右腕を挟まれ負傷した。
	10	R4.1.31	人身事故	重傷1名	はさまれ・巻き込まれ	トラック	建設機械による人身事故	インクラインにて移動中に、荷台からはみ出していたトラック後方部と坑口構台が接触し、トラックが転回、作業員がトラックと手摺に挟まれ負傷した。

水道工事事故事例集

令和6年3月31日

1. 労働災害（過去10年間の水道工事における事故内容）

札幌市水道局工事安全管理委員会

年度	No.	発生年月日	人身/物損	被災人数	事故の型	起因物	事故概要	災害発生概況
R2	11	R2.5.25	人身事故	軽傷1名	はさまれ・巻き込まれ	その他	挟まれによる人身事故	配水管布設後の縁石復旧・仮舗装のかけ直し作業中、バックホウで破碎した舗装殻を作業員が人力でバックホウのバケットに積み込む際に、左手中指を舗装殻とバケットとの間に挟んで骨折した。
	12	R2.6.11	人身事故	死亡1名 軽傷1名	激突され／墜落・転落	掘削機	建設機械の転落に伴う人身事故	弁室設置に伴う立坑掘削のため、バックホウの後ろ側を立坑部に寄せて作業をしていた際、バックホウが前進しようとして前方のダンプに追突しようになり、ギアをニュートラルに入れようとしたが誤ってバックに入り、後ろの掘削穴に転落し、オペレーターの負傷とともに、立坑の中で床均し等をしていた作業員がバックホウの下敷きになった。
	13	R2.9.8	人身事故	重傷1名	激突され	人力機械工具	エンジンカッターによる人身事故	翌日の作業準備のため、土場にて一人で鑄鉄管をエンジンカッターで切断作業中、カッターが跳ね上がって刃カバ一部が作業員の顎部に当たり負傷した。
	14	R2.10.8	人身事故	重傷1名	はさまれ・巻き込まれ	掘削機	建設機械による人身事故	配水管布設に伴う仮舗装作業のため待機していたバックホウの後方で歩行者の誘導を行っていた交通誘導警備員が、後退してきたバックホウに右足甲を轢かれて負傷した。
R1	15	H31.4.10	人身事故	重傷1名	転倒	その他	転倒による人身事故	導水路坑内(RCセグメント部・内径φ2200mm)において配線の撤去作業を行うため、作業員が坑内を2輪自転車移動中、右側へ転倒して右肩腱板を断裂した。
	16	R1.5.29	人身事故	重傷1名	転倒	コンクリート打設機	転倒による人身事故	取水口の底部コンクリート打設作業中、ホース内の生コンが詰まったため、作業員がホースを揺らしたところ、生コンが吐出し、ホースの荷振れにバランスを崩して転倒し、突出した鉄筋に左耳をぶつけて耳介不全断裂等を生じた。
	17	R1.6.1	人身事故	重傷1名	はさまれ・巻き込まれ	掘削機	建設機械による人身事故	配水管布設に伴い不要になった切管をミニバックホウにより移動式クレーン車へ積み込み作業中、バックホウが移動したため、切管を押さえていた作業員の右足の上にキャタピラが乗っかり
	18	R1.11.16	人身事故	重傷1名	転倒	その他	転倒による人身事故	配水池改修工事において、ブルーシートで養生していた屋根の除雪作業中に足を滑らせて転倒し、腰袋に胸部を強打して肋骨を骨折した。
H30	19	H30.9.18	人身事故	重傷2名	はさまれ・巻き込まれ	掘削機	建設機械による人身事故	下り勾配の車道においてバックホウで管布設の掘削作業をしていたところ、バックホウが下り方向に動き出し、掘削穴に作業員2名がいたため、1名がバックホウのバケットと掘削穴の間に挟まれ(骨盤骨折、出血性ショック等)、もう1名も作業員と衝突(肋骨骨折)した。
H29	20	H29.6.10	人身事故	重傷1名	はさまれ・巻き込まれ	その他の一般動力機械	建設機械による人身事故	坑内切羽部セグメント組立作業中に、ローラー上に左手を添えていたが搬送していたセグメントピースに気付かず、搬送ローラーとセグメントピースの間に左手小指を挟まれ不全切断した。
	21	H29.11.25	人身事故	重傷1名	墜落・転落	掘削機	転落による人身事故	管布設作業中に、配管作業員がバックホウと深さ約1.8mの掘削箇所とのわずかな隙間を通行しようとした際に掘削床に転落し、左大腿骨を骨折した。
H28	22	H28.5.23	人身事故	軽傷1名	転倒	掘削機	転倒による人身事故	工事区域内の車道部でバックホウにて舗装版をはぎとった後、そこにできた段差で作業員が足を踏み外し、転倒して左手首を骨折した。
	23	H28.6.16	人身事故	重傷1名	はさまれ・巻き込まれ	その他の一般動力機械	建設機械による人身事故	シールドトンネル内の泥水ポンプ増設に伴い、乾式トランス(重量約1.5t)の設置作業を行っていた時に、かさ上げ用のコマ材(H200)がずれたため、作業員が修正するため斜め吊りしたトランスとレールの間に不用意に立ち入り、その際レバブロックのフックが外れてトランスとレールの間に上半身が挟まれ肋骨を骨折した。
	24	H28.8.3	人身事故	軽傷1名	その他	その他	体調異変による人身事故	休憩直前に体調の異変を本人が感じたが、休憩までわずかだったので、そのまま作業を続け、休憩時間に休憩所にて発症した。

水道工事事故事例集

令和6年3月31日

1. 労働災害（過去10年間の水道工事における事故内容）

札幌市水道局工事安全管理委員会

年度	No.	発生年月日	人身/物損	被災人数	事故の型	起因物	事故概要	災害発生概況
H27	25	H27.6.3	人身事故	重傷1名	はさまれ・巻き込まれ	その他の一般動力機械	建設機械による人身事故	土砂ピットの鋼矢板打設中(バイブロハンマー)に、H鋼定規財の鋼矢板位置決め固定金物が緩み、作業員(とび工)が鋼矢板打設を停止せずに取り直しをしたため、固定金物が押され、固定治具との間に右手薬指が挟まれた。 右環指指尖部欠損・右環指末節骨解放骨折(全治2週間)
	26	H28.3.30	人身事故	重傷1名	墜落・転落	建築物・構造物等	転落による人身事故	浄水池内の照明器具の撤去中、ピットの脇でピットに背を向けて作業員が中腰で電線ケーブルを片付ける作業を行っていたところ、線が何かに引っかかったため立ち上がり、その拍子に左足をピットに落とし、そのままピット内に転落・左脚股関節側部を強打した。骨盤骨折(全治4週間)
H26	27	H26.6.5	人身事故	重傷1名	激突され	建築物・構造物等	仮設材の衝突による人身事故	ライナープレートの歪みと裏込め注入の圧力による変形防止のため、H形鋼(H-200)と修正ジャッキ(2方向)を使用し補強リングを押している際に、H形鋼が台(木矢板高さ30cm)からずれた弾みで2名の作業員にぶつかり脛骨高原骨折及び膝の靭帯損傷・打撲。
	28	H26.7.2	人身事故	重傷1名	激突	その他の一般動力機械	機械の衝突による人身事故	作業員がエンジンカッターにて水道管を切断中に足元を滑らし、誤って足首にカッターが触れ、左足部外傷性挫傷した。(全治2週間)
	29	H26.10.29	人身事故	重傷1名	はさまれ・巻き込まれ	掘削機	建設機械による人身事故	道路を清掃していた作業員が、移動していたバックホウの横で転倒し、右足がバックホウに接触した。右足関節挫傷・右足関節内果骨折・遠位脛腓靭帯損傷(全治2ヶ月)

水道工事事故事例集

令和6年3月31日

2. 公衆災害（過去10年間の水道工事における事故内容）

札幌市水道局工事安全管理委員会

年度	No.	発生年月日	人身/物損	被災人数	事故の型	起因物	事故概要	災害発生概況
R5	1	R5.7.10	物損事故	-	-	樹木	NTTケーブルの切断	伐開作業中に架空線のない山側に倒木した際、枝木が折れバウンドし、架空線（NTTケーブル）を切断した。
	2	R5.7.11	物損事故	-	-	掘削機	ガス管の折損・損傷	既設水道管閉塞のため車道を掘削中、ガス管φ50にバケットが接触し破損させた。
	3	R5.7.26	物損事故	-	-	掘削機	ガス管の折損・損傷	既設水道管φ200を撤去作業中、人力掘削をしていたが、バケットに土砂を積込み、ダンプに積込みを行おうとしたところ、未掘削部分にバケットのツメが刺さり、地中のガス管を損傷した
	4	R5.9.20	物損事故	-	-	掘削機	NTTケーブルの切断	撤去管堀上のための掘削作業中、配水管上（離隔約8cm）に埋設されたNTTケーブル（対象30戸、外装管VPφ50）をバックホウで損傷した。
	5	R5.9.27	物損事故	-	-	アスファルトフィニッシャー	電柱、消火栓、標識の破損	工事現場での舗装作業を終了後、アスファルトフィニッシャーを機械置場へ回送する際、運転操作を誤ったことにより、進行方向左側歩道部に設置されていた北電柱を破損し、また消火栓・消火栓標識柱を倒壊させた。
	6	R5.9.29	物損事故	-	-	アスファルトカッター	ロードヒーティングの切断	舗装切断時、民地内のロードヒーティングを破損させた。
	7	R5.10.12	物損事故	-	-	掘削機	給水管の破損	切替箇所付近をバックホウで掘削していたところ、管理図には記載の無い給水分岐があり、給水管φ50を破損させた。
	8	R5.10.13	物損事故	-	-	ダンプトラック	電柱の破損	現場付近の生活道路において4tダンプがUターンする際、ギアの操作を誤り（1速にしたつもりがバックにしてしまった）電柱に衝突し破損させた。
	9	R5.11.15	人身事故	軽傷1名	転倒	その他	転倒による人身事故	仮設歩行者通路を自転車が走行した際に、コーンバーからはみ出していた資材にペダルが当たってしまい、バランスを崩し転倒した。

水道工事事故事例集

令和6年3月31日

2. 公衆災害（過去10年間の水道工事における事故内容）

札幌市水道局工事安全管理委員会

年度	No.	発生年月日	人身/物損	被災人数	事故の型	起因物	事故概要	災害発生概況
R4	10	R4.6.8	物損事故	-	-	掘削機	ガス管の折損・損傷	人力掘削を主体とし、発生土をガス管付近に配置したバケットに積み上げていたが、バケットを上げた際バックホウのアームと看板が接触しそうになり、回避しようとした際にガス管付近の確認を怠り、破損させた。
	11	R4.6.14	物損事故	-	-	掘削機	ガス管の折損・損傷	給水管布設のため、歩道をバックホウで掘削中、ガス管Φ30が想定していない位置に埋設されていたため接触し、破損させた。
	12	R4.7.4	物損事故	-	-	掘削機	ガス管の折損・損傷	配水管布設のため、車道をバックホウで掘削中、ガス管Φ150の上面突起物とバケットが接触し、破損させた。
	13	R4.7.5	物損事故	-	-	掘削機	電線の切断	既設給水管撤去のため、歩道部をバックホウで掘削中、北電電線管を持ち上げてしまい、切断した。
	14	R4.7.18	人身事故	軽傷1名	転落	掘削開口部	転落による人身事故	自転車に乗った被災者が工事区域内に侵入し、路床掘削前の開口部（幅80cm×長さ2m×深さ35cm）に誤って転落し、負傷した。
	15	R4.7.19	物損事故	-	-	トラック	擁壁の損傷	トレーラーが後進にて進入時、進路を変更しようとして切り替えした際、トレーラーの荷台側面再度バンパーが、侵入防止チェーン取付ポール、チェーン収納カゴ及び擁壁に接触し、破損させた。
	16	R4.7.20	物損事故	-	-	掘削機	ガス管の折損・損傷	配水補助管の切替作業を行うため、車道部をバックホウで掘削作業中、図面と異なる位置に埋設されていたガス管Φ50に接触し、破損させた。
	17	R4.7.28	物損事故	-	-	掘削機	仕切弁の折損・損傷	合図者が不在中にバックホウで埋戻しを行い、誤って既設の水道仕切弁のスピンドル部に接触し破損させた。
	18	R4.9.6	物損事故	-	-	その他	一般車両の損傷	歩道上に設置されていたセーフティーコーンが突風により車道に移動し、走行車両に接触、バンパーを破損させた。
	19	R4.9.7	物損事故	-	-	掘削機	ガス管の折損・損傷	廃止水道管の撤去のため、歩道をバックホウにて掘削中、ガス管Φ25が車道部よりも浅い位置に埋設されていたため接触し、破損させた。
	20	R4.9.27	物損事故	-	-	その他	NTTケーブルの破損	給水管の継替工を貫孔にて施工した際、刃先が目標より下方向だったため、NTTケーブルのさや管（塩ビ）に接触し破損させた。
	21	R4.10.13	物損事故	-	-	クローラクレーン	高圧電線に接触	クレーンにて資材を施設内に搬入中、計画と逆方向に旋回したことで高圧電線に接触し漏電、一部の地域で停電が発生した。
	22	R4.10.14	物損事故	-	-	掘削機	ガス管の折損・損傷	配水管布設のため、北ガスによるマーキング位置の周辺を人力掘削したが確認できず、引き続き慎重に機械掘削を行ったところ、想定よりも浅い位置に埋設されていたため接触し、破損させた。
23	R4.12.9	物損事故	-	-	掘削機	ガス管の折損・損傷	配水管敷設のため、車道部をバックホウにて掘削中、ガス管が想定よりも浅い位置に埋設されていたため接触し、破損させた。	

水道工事事故事例集

令和6年3月31日

2. 公衆災害（過去10年間の水道工事における事故内容）

札幌市水道局工事安全管理委員会

年度	No.	発生年月日	人身/物損	被災人数	事故の型	起因物	事故概要	災害発生概況
R3	24	R3.4.15	物損事故	-	-	掘削機	街路灯用地中埋設ケーブルの切断	建柱作業のため建柱車により掘削作業を行っていたところ、街路灯用ケーブルが地中に埋設されていることに気づかず誤って切断した。
	25	R3.4.22	物損事故	-	-	掘削機	ガス管の折損・損傷	配水管布設のため車道を掘削中、ガス管φ150が試掘により想定していた位置と異なる位置に埋設されていたため、バックホウにより破損させた。
	26	R3.5.16	物損事故	-	-	仮復旧	一般車両の損傷	施工後、仮復旧と既舗装に5cm程度の段差が生じたため、通行した車両のホイールとタイヤが破損した。
	27	R3.5.19	物損事故	-	-	掘削機	駐車場看板の破損	舗装復旧のため歩道部の舗装を撤去していたところ、旋回時にバックホウの右側後方にあった駐車場看板と接触して破損させた。
	28	R3.7.20	物損事故	-	-	掘削機	ガス管の折損・損傷	配水管布設のため車道をバックホウで掘削中、バケットの先端が、想定より浅い位置(0.68m)に埋設されていたガス供給管に接触し、破損させた。
	29	R3.7.28	物損事故	-	-	掘削機	国道排水管の凍結防止ケーブル切断	舗装復旧時にダンプトラックから舗装合材をバックホウにて投入する作業中、旋回時に誤って架空ケーブルに接触し切断した。
	30	R3.8.27	物損事故	-	-	掘削機	ガス管の折損・損傷	給水管継替工のため歩道を掘削中、バケットの先端が、想定より浅い位置(0.80m)に埋設されていたガス供給管に接触し、破損させた。
	31	R3.9.7	物損事故	-	-	その他	一般車両の損傷	洗管作業時に排水先の雨水樹取付管から洗管水が漏水し、廻りの土砂を引き込んだことが原因で道路が約35cm陥没したため、通行した車両が一部損傷した。
	32	R3.9.22	物損事故	-	-	掘削機	水道管の折損・損傷	配水管布設のための掘削作業中、埋設シートが確認されたにもかかわらず、バックホウによる掘削を続けた結果、既設管(φ50)を損傷した。
	33	R3.10.1	物損事故	-	-	掘削機	ガス管の折損・損傷	PeHの切替作業のため手掘り作業中、スコップの先端がガス管(鋳鉄管φ50mm)のクランプ部に接触し、ズレが生じたためガス漏れが発生した。
	34	R3.11.4	物損事故	-	-	掘削機	ガス管の折損・損傷	既設管撤去のため掘削作業中、図面に記載されていたガス供給管(φ25)が埋設されていることを失念したため注意が疎かとなり、バックホウにより破損させた。
	35	R3.11.9	物損事故	-	-	その他	一般車両の損傷	一般車両が敷地内に入るため施工区域を横切ろうとしたところ、交通誘導員の指示に気づかず侵入したため、管路埋戻中の開口部に左前輪が脱輪し、タイヤとホイールが破損した。
36	R3.12.1	物損事故	-	-	トラック	門扉フェンスの損傷	撤去品の搬出作業のため敷地内に4tユニック車で入場したところ、別途工事により受枠まで露出していた弁室マンホール蓋に気を取られ周囲への注意が疎かとなり、車両後部が門扉フェンスに接触し損傷した。	
R2	37	R2.4.16	物損事故	-	-	掘削機	通信ケーブル架空線の損傷	取水堰新設に伴う右岸下流の工事用斜路整形作業中、バックホウのブームを上げた際に警報通信ケーブルの架空線に接触し切断させた。
	38	R2.8.26	物損事故	-	-	掘削機	ガス管の折損・損傷	既設水道管の自然漏水を修繕するため、当初掘削予定のない箇所をバックホウにて掘削作業中、バケットがガス管φ50に接触し損傷させた。
	39	R2.9.3	物損事故	-	-	掘削機	歩行者信号機の損傷	配水管布設に伴う仮復旧用の舗装材をバックホウで路盤上に運ぶ際、バックホウのアームが横断歩道の歩行者信号機に接触し、ケーブルがショートして交差点内の歩車道信号機の機能を停止させた。
	40	R2.9.9	物損事故	-	-	掘削機	ガス管の折損・損傷	既設配水管の撤去のためバックホウにて掘削作業中、バケットがガス管φ30に接触し変形させた。

水道工事事故事例集

令和6年3月31日

2. 公衆災害（過去10年間の水道工事における事故内容）

札幌市水道局工事安全管理委員会

年度	No.	発生日月	人身/物損	被災人数	事故の型	起因物	事故概要	災害発生概況
R2	41	R2.9.23	物損事故	-	-	掘削機	街路灯ケーブルの損傷	夜間作業による国道での配水管布設作業中、バックホウのバケットで街路灯ケーブルの入った電線管を引っ張り、近傍箇所のケーブルが断線して街路灯6基を消灯させた。
	42	R2.10.21	物損事故	-	-	掘削機	ガス管の折損・損傷	配水管布設のため車道を掘削中、付近の埋設引込管に比べて浅く埋設されていたガス引込管にバックホウのバケットが接触し損傷させた。
	43	R2.11.5	物損事故	-	-	掘削機	水道管の折損・損傷	通信装置盤基礎部の撤去・新設のためバックホウによる歩道の掘削を行っていたところ、公園の水道引込管φ20をバケットで破損し漏水させた。
	44	R2.11.18	物損事故	-	-	掘削機	ガス管の折損・損傷	配水管布設に伴う既設消火栓部の撤去作業中、バックホウのバケットと消火栓及び消火栓ポールとの接触防止に意識が集中し、バケットがガス管φ50に接触し損傷させた。
R1	45	R1.5.15	物損事故	-	-	掘削機	水道管の折損・損傷	配水管布設時に、既設管理設深までバックホウにより掘削を行ったため、配水補助管Peφ50を切断した。
	46	R1.6.4	物損事故	-	-	トラック	信号柱の損傷	配水管布設に伴う掘削土の運搬のため、ダンプトラックが規制帯から走行車線に入ろうと後退した際、誤って信号柱に接触し、信号柱を損傷させた。
	47	R1.6.12	物損事故	-	-	貫孔機	ガス引込管の損傷	配水管布設に伴う給水管継替において宅地内を貫孔作業中、貫孔機がガス引込管に接触し損傷させた。
	48	R1.6.12	物損事故	-	-	掘削機	規制標識の損傷	配水管布設後の埋戻作業中、バックホウのアームが電柱添架の規制標識に接触し、標識を損傷させた。
	49	R1.6.20	物損事故	-	-	掘削機	街路灯ケーブルの損傷	配水管布設のための掘削作業中、街路灯ケーブルの埋設シートを確認したが、掘削位置と異なることからそのまま掘削したところ、ケーブルが曲がって埋設されており、バックホウのバケットでケーブルを切断させた。
	50	R1.7.2	物損事故	-	-	掘削機	NTT架空線の損傷	配水管布設に伴う舗装版撤去・積込作業時、バックホウのアームがNTT架空線に接触し、架空線を切断させた。
	51	R1.10.11	物損事故	-	-	貫孔機	ガス引込管の損傷	配水管布設に伴う給水管継替において宅地内を貫孔作業中、貫孔機がガス引込管φ25に接触し損傷させた。
	52	R1.10.16	物損事故	-	-	掘削機	ガス引込管の損傷	配水管布設に伴う給水管継替において掘削作業中、バックホウのバケットがガス管φ25の取出し部に接触し、損傷させた。
	53	R1.10.16	物損事故	-	-	掘削機	ガス管の損傷	配水管切替部の掘削作業中、バックホウのバケットでガス管Peφ50を破損させた。
	54	R1.10.28	物損事故	-	-	掘削機	ガス引込管の損傷	配水管布設のための掘削作業中、バックホウのバケットがガス管φ25の取出し部に接触し、損傷させた。
	55	R1.10.29	物損事故	-	-	掘削機	NTT架空線の損傷	水道施設外柵整備のための歩道路盤掘削時に、北電柱に共架しているNTTの光ケーブルの支線ワイヤーにバックホウのバケットが接触し、ワイヤーを切断させた。
	56	R1.11.8	物損事故	-	-	掘削機	ガス管の損傷	給水管布設のための掘削作業中、バックホウのバケットでガス管Peφ50を破損させた。
	57	R1.11.21	物損事故	-	-	掘削機	光回線架空線の損傷	管路布設作業中に、バックホウのアームが道路を横断している光回線引込架空線に接触し、回線を切断させた。

水道工事事故事例集

令和6年3月31日

2. 公衆災害（過去10年間の水道工事における事故内容）

札幌市水道局工事安全管理委員会

年度	No.	発生年月日	人身/物損	被災人数	事故の型	起因物	事故概要	災害発生概況
H30	58	H30.6.4	物損事故	-	-	仮設柵蓋	一般車両の損傷	車道走行車線に設置していた仮設の柵蓋が軽いなどの原因により、一般車両が通過した際に蓋が浮き上がり、車両の後方バンパーに接触して損傷させた。
	59	H30.10.4	物損事故	-	-	掘削機	電気ケーブルの損傷	集水柵設置のため浄水場内において掘削中、1.15mの深さに埋設されていた電線鞘管1条をバックホウのバケットで引っ掛け、中に入っていたケーブル5本のうち3本（火災報知器掲示板ケーブル・火災報知器基盤ケーブル・音声ケーブル）の被覆を損傷させた。
	60	H30.10.6	物損事故	-	-	掘削機	NTTケーブルの損傷	L型擁壁撤去のためバックホウで掘削中、埋設されていた電線管5条の内2条（内1条は予備管）に接触し破損させ、中にあったNTT通信用ケーブル1本を損傷させた。
	61	H30.11.16	物損事故	-	-	舗装切断機	ロードヒーティング配管の損傷	通信装置盤の電源線及び管路の更新に伴う歩道部の舗装切断時に、ロードヒーティングの調査を見落としていたため、その配管4本を切断した。
H29	62	H29.5.16	物損事故	-	-	その他の一般動力機械	一般所有物件の損傷	給水管継替工事に係る宅地内舗装復旧中に、ミニタイヤショベルがカーポート支柱に接触して損傷させた。
	63	H29.5.19	物損事故	-	-	覆工板・敷鉄板	一般車両の損傷	地先マンション住民が駐車場から車両にて外出する際、車両前部バンパー下と駐車場出口部の歩道に敷いていた敷鉄板が接触し、バンパーが損傷した。
	64	H29.6.30	物損事故	-	-	その他	一般車両の損傷	給水管布設完了後、交通誘導員が工事車両等の誘導中に一般車両が工事区域内に進入し、開口部に落下して脱輪してフロントバンパーを損傷した。
	65	H29.7.26	物損事故	-	-	トラック	一般車両の損傷	PeH管布設時、搬入トラックが規制内に停車し助手席のドアを開けたところ、隣に停車中の一般車両のサイドミラーに接触し損傷させた。
	66	H29.8.3	物損事故	-	-	掘削機	ガス管の折損・損傷	新設管理設のための掘削中、再生骨材 I 型の層のすぐ下（土被り0.53m）に埋設されていたガス引込管φ25をバックホウにて折損した。
	67	H29.8.10	物損事故	-	-	掘削機	水道管の折損・損傷	試掘調査時に、既設管理設深までバックホウにより掘削を行ったため、配水補助管Peφ50を切断した。
	68	H29.8.31	物損事故	-	-	覆工板・敷鉄板	一般車両の損傷	立坑を路面覆工で交通解放中、路面覆工の舗装擦り付け部が陥没し、少なくとも2台の一般車両が通過の際にタイヤ及びホイールなどが破損した。
	69	H29.8.31	物損事故	-	-	その他の一般動力機械	一般車両の損傷	庁舎の改修工事でコンクリートを研った際、飛散したコンクリート粉塵が隣の駐車場に駐車中の一般車両（新車）のボディー面に付着し、トランク部分が損傷した。
	70	H29.9.29	物損事故	-	-	鋼矢板	電力ケーブルの損傷	割T字管及び不断水式仕切弁設置のため、配水池場内を掘削し軽量鋼矢板での土留作業を行っていたところ、鋼矢板により高圧電力ケーブルを損傷させた。
	71	H29.11.21	物損事故	-	-	その他の一般動力機械	水道施設設備の損傷	現場事務所前の坂道において車両を後退させたところ、積雪によりスリップし、後方フェンスに衝突してフェンスを損傷させた。

水道工事事故事例集

令和6年3月31日

2. 公衆災害（過去10年間の水道工事における事故内容）

札幌市水道局工事安全管理委員会

年度	No.	発生年月日	人身/物損	被災人数	事故の型	起因物	事故概要	災害発生概況
H28	72	H28.4.19	物損事故	-	-	掘削機	水道施設設備の損傷	既設構造物撤去のため、バックホウで躯体を持ち上げた際、地下に埋設されていた平岸配水池のテレメーターケーブルに接触、切断した。これにより水位計の監視が不可となった。
	73	H28.5.31	物損事故	-	-	仮復旧	一般車両の損傷	試掘作業を終えて舗装で仮復旧を行い交通を解放したが、当該箇所を通行した際に道路が陥没し、車両のタイヤが陥没箇所に落ちてタイヤがパンクしたとともに車両が損傷した。
	74	H28.8.19	物損事故	-	-	掘削機	水道管の折損・損傷	コンクリート塀の新設のため基礎工事の根堀中に庁舎内へ給水する給水管Pe(50)を折損した。
	75	H28.11.7	物損事故	-	-	その他	一般車両の損傷	被害者が交通規制区域内のアパート駐車場に進入する際に交通誘導員が保安施設を外して車両を誘導していたところ、その車両が大きく膨らんで曲がり、掘削箇所に脱輪し、バンパーを損傷
	76	H28.12.24	物損事故	-	-	掘削機	NTT引込線の切断	現場内にてバックホウ(0.45級クレーン)の移動中(自走)に、市道上を横断しているNTTの架空線にブーム上部を引っかけて引込み線を切断した。
H26	77	H26.5.23	物損事故	-	-	掘削機	電柱・消火栓の折損	自走式バックホウをバックしようとした際に、ブレーキの故障により坂道を下り、T字路の車道を横断し歩道内の電柱と消火栓に衝突・折損させた。
	78	H26.8.1	物損事故	-	-	削孔機	水道管の折損・損傷	白川浄水場内にて、H鋼350×L=10.0mの親杭をオーガー併用で建込作業中に、近接して埋設されていた、配水管φ150をオーガー(錐径600mm)で穿孔して折損させた。
	79	H26.8.11	物損事故	-	-	削孔機	ガス管の折損・損傷	車道横断部の給水管継替えを貫孔作業での布設を完了したが、3日後に近隣住民からの通報によりガス使用不能が判明し、北ガスジェネックスが掘削調査をした結果、ガス管PEφ50に給水管Pe20が貫通し破損しているのを発見した。
	80	H26.8.18	物損事故	-	-	トラック	NTT施設の損傷	作業を終えた舗装切断機を積み込むため、トラックを移動した際に、下げたままのパワーゲート後部と街灯柱が接触して、街灯柱を根本から倒壊させた。また倒れた街灯柱によりNTT支線が
	81	H26.10.28	物損事故	-	-	覆工板・敷鉄板	一般自転車の損傷	自転車で乗った男子高校生が、立坑の覆工板部を通行中、覆工板と道路との隙間3.5cmに前輪が挟まり転倒し、自転車(前輪)が破損した。
	82	H27.2.12	物損事故	-	-	その他	水道施設設備の損傷	No.3, 4導水ポンプ盤供給ケーブルを、既設高圧フィーダ盤から新設高圧フィーダ盤に接続替えを完了し、No.4導水ポンプの実機運転を行ったところ、新盤へ仮設給電を行っている既設高圧フィーダ盤の遮断器がトリップし、白川第3浄水場及び中央管理棟動力変圧器の停電が発生し
	83	H27.2.13	物損事故	-	-	掘削機	水道施設設備の損傷	仮設ゲート撤去集積のため、バックホウで吊荷した状態で前進し、地上6.0mの架空線(北ノ沢第2ポンプ場・配水池のテレメーターケーブル)をアームにより切断した。(75分後復旧)
	84	H27.3.23	物損事故	-	-	その他	水道施設設備の損傷	故障・表示試験のため、追加接点部よりクリップ短絡する方法で試験を開始したが、誤って隣接する別の端子をクリップ短絡してしまい、不要トリップしたことで白川浄水場を全停電させた。5分後自家発電設備を起動させて、事故発生から約1時間後に通常の商用受電への復旧作業が完了